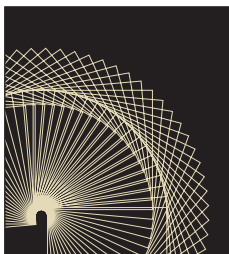




「社内マニュアルやスケジュール管理を徹底し、高品質な施工を実現しています。お客様の明るい未来のためのお手伝いをしてさしあげたいんです」

対談記事 ▶▶ 050p



## 株式会社 リズムワーク

代表取締役

佐々木 秀聡

学生時代にインテリアに興味を頂いたことをきっかけに、内装工事会社に勤めた佐々木氏。自身の理想とする空間設計を追求するために立ち上げたのが(株)リズムワークだ。同社では、内装工事を空間設計からデザイン、施工まで一貫して手掛けている。そして、細分化された社内マニュアルや、アプリを使用したスケジュール管理を行い、高品質の施工を実現。「お客様の未来が明るくなっていくのが何よりのやりがいです」と同氏は語り、今後もより多くの顧客に良質な空間を提供していく。



株式会社 リズムワーク  
代表取締役

**佐々木 秀聡**

学生時代にインテリアに興味を抱き、専門学校を卒業後は内装工事に就職。仕事をする中で「空間」に魅力を感じるようになり、空間デザインの道を追求していくことを決意する。2013年に（株）リズムワークを設立し、現在は店舗を中心にさまざまな建物の内装デザイン、設計、施工を手掛けている。

# 抜群の連携で現場作業にリズムを生み出す 空間設計から施工まで担う若き内装工事会社

北海道札幌市を拠点に店舗や住宅の内装工事を手掛けている（株）リズムワーク。現場での連携を重視する佐々木社長は、作業進捗を共有する最先端のアプリを導入するなど効率化を進めている。その独自の経営理念について、タレントの石黒彩さんが話を伺った。

**空間の魅力に惹きこまれて**

石黒 まずは、佐々木社長が内装工事の世界へ入られることになったきっかけからお聞かせ頂けますでしょうか。

佐々木 実は、高校生のときに好きだった子の趣味がインテリアで、気を引きたいという単純な理由で自分も「空間」に興味を持ち始めたんです。しかし、実際に関わってみると想像していた以上に面白くて、「もっと専門的に学んでいきたい」という気持ちが強くなったことから、内装工事会社に就職しました。

石黒 好きな人がきっかけで自分の道を見つけれられるなんて、素敵なエピソードですね！独立されることは、入社当時から考えていらっしやったのですか？

佐々木 最初はあまり意識していませんでしたが、やはり会社員だと朝から晩まで仕事に追われるばかりで、なかなか先を見通すことが難しかったので、自分の理想とする空間設計を追求していくためにも、自然と独立を考えるようになりました。そうして着実に準備を進めて、27歳のときに起業したというわけです。

石黒 同じ業界とはいえ、ゼロから再スタートされるのは大変なことですか。苦労されたことも多かったのでは？

佐々木 そうですね。お客様も前職から引っぱりくるようなことはせず、新規開拓のみでやっていこうと決めていたので、その分スタート時は苦労しました。ただ、周囲の方が支えて下さったり、知り合いがお客様を紹介してくださったり



したおかげで徐々に経営を軌道に乗せ、今日まで歩んでくることができました。本当に、皆様には感謝しかありません。

**緻密な現場管理で施工の品質を向上**

石黒 現在は、どういった現場を手掛けていらっしやるのでしょうか？

佐々木 当社では、札幌市内の店舗を中心に、マンションやアパート、住宅、オフィスなどの内装工事を、空間設計からデザイン、施工まで一貫して手掛けています。机の配置1つから、建物全体の設計まで、あらゆる規模のニーズにお応えできる柔軟性が私たちの武器です。

石黒 なるほど。内装のことなら何でもお任せできるエキスパートなのですね。

佐々木 はい。デザインの根幹部分は私が担い、それを現場のスタッフたちにしっかり伝達することで、常に高品質な施工を実現しています。いかに細かく指示を出せるかが、そのまま仕上がりの差につながってくると考えています。現場でデザインや設計に関するスケッチを描くことはもちろん、どんな状況にも的確に対応するための社内マニュアルも作成しているんです。

石黒 それは素晴らしい。建設業界には「仕事は見えて覚える」という慣習が残っているイメージがありますが、社長はそこから脱却されて、非常に合理的かつ効率的な職場環境を整えていらっしやるんですね。

佐々木 当社には若くて優秀な社員が揃っていますし、そういう意味でも私が新しい体制を確立していかなければならないと思っています。現場では作業進捗をリアルタイムで共有できるアプリも導入しており、緻密なスケジュール管理が可能です。また、お互いの価値観を共有するために、社員旅行や食事会など業務外のイベントも頻繁に開催しています。

石黒 これだけ環境が整ってれば、社員の方たちも生き生きと働くことができそうです。他にも、社長ご自身が現場に出る際に気を付けていらっしやることは何かありますか？

佐々木 お客様と接するときは、飾ることなく、内装に対する自分の思いを素直にぶつけていくことを大切にしています。専門的な部分について分かりやすく説明させて頂くのはもちろん、打ち合わせを進める中で節約できそうだと感じたことに関しては「ここはお金をかけなくても良いかもしれません」とお客様目線でご提案させて頂いているんです。そう

した真摯な姿勢を貫くことが、次の仕事へもつながると思いますから。

**楽しんで仕事ができる会社に**

石黒 お話の端々から、社長の事業へ対する情熱が伝わってきます。ご自身の中で、ここまで頑張れる原動力はどこにあるとお考えですか？

佐々木 店舗様や企業様とお付き合いをさせて頂くことが多いので、私たちがデザインした空間で実際に働かれる姿を見られたり、盛り上がっていく雰囲気を感じられたりすると、この仕事をやっていて良かったと思うんです。お客様の将来が明るくなっていくことが私たちの何よりの願いですし、常にその責任を担っているのだという気概を持って仕事に臨むようにしています。

石黒 そんな社長のもとには、この先も数多くの依頼が舞い込んでくると思います。会社としての今後のビジョンについてはいかがお考えでしょうか。

佐々木 私は、社員たちは自分にとってのお客様だと思っており、彼らには心から楽しんで仕事をしてほしいと願っています。まずは安心感のある会社づくりに努めながら、内装や空間デザインに興味を持つ人を増やし、この業界への恩返しをしていきたいですね。そうして、当社の事業を通じて多くのお客様に空間の魅力を伝え、新しい文化を生み出すような空間づくりをしていけるよう、今後もチーム一丸となって、スピード感のある仕事を続けてまいります。

**Guest Comment>>**

**石黒 彩 (タレント)**

「現場では自分より年上の職人のほうが多いので、しっかり意見に耳を傾けたり、イメージをすり合せたりして無駄を省いていきます」と語っていらっしやった佐々木社長。新しい手法を積極的に取り入れつつ、周囲の人間関係の構築にも余念がなく、その視野の広さに感銘を受けました。若い世代の旗頭として、ぜひこの先も内装業界を盛り上げていかれてください。

